

## 融資制度や税制優遇 などのご紹介

※町村個々に記載している情報については、一部の制度を記載しているもので、関連する制度の全てではありません。  
また、事業内容や要件が変更される場合もありますので、ご了承下さい。  
各市において補助金や融資制度を備えている場合がありますので、詳しくは該当する市町村窓口へお問い合わせ下さい。

### □長期優良住宅認定制度

融資 税

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた住宅を、所管行政庁（群馬県や市）が「長期優良住宅」として認定します。認定されると、税制優遇や金利優遇などを受けることができます。

#### □認定基準

「省エネルギー性」「耐久性」「耐震性」「維持管理・更新の容易性」「可変性」などの認定基準に適合するもの。

○問い合わせ先 建設地の所管行政庁にお問い合わせ下さい。

### □低炭素建築物認定制度

融資 税

省エネルギー性能に優れ発生する二酸化炭素を抑制するための措置が講じられた住宅を、所管行政庁（群馬県や市）が「低炭素建築物」として認定します。認定されると、税制優遇や金利優遇などを受けることができます。

#### □認定基準

省エネ法で定める省エネルギー基準より高い省エネルギー性能を持つこと、低炭素化に資する措置を講じていること、等。

○問い合わせ先 建設地の所管行政庁にお問い合わせ下さい。

### □地域型住宅グリーン化事業

補助

長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅などの長寿命型や高度省エネ型の住宅に対し、補助を受けることができます。

補助金は直接施主が受けるのではなく、採択された中小住宅生産者が補助金の交付を受けるため、施主は間接的に補助金を受けることになります。

○問い合わせ先 地域型住宅グリーン化事業採択グループに属する工務店等

### □【フラット35】S

金利優遇

民間金融機関と住宅金融支援機構が提携している長期固定金利住宅ローン【フラット35】の利用者が、省エネルギー性、耐震性などの優れた住宅を取得する場合に、【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる制度

#### □対象となる住宅

【フラット35】の技術基準（新築・中古）に加えて「省エネルギー性」「耐震性」「バリアフリー性」「耐久性・可変性」の4つの性能の組み合わせによる【フラット35】の技術基準を満たす等

○問い合わせ先 住宅金融支援機構 お客様コールセンター：0120-0860-35

## どうして？省エネルギー住宅（平成31年2月発行）

お問い合わせ：群馬県ゆとりある住生活推進協議会事務局（ぐんま住まいの相談センター内）  
〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL.027-210-6634 URL <http://www.gunma-jkk.or.jp>

# どうして？省エネルギー住宅

家の新築やリフォームの計画をする時に「省エネ住宅」を検討して、  
「冬暖かく、夏涼しい」が実感できる快適な住宅を目指そう！！

## 快適性の向上

〔高断熱や高气密により  
各部の温度差小さい〕

## 省コストの実現

〔冷暖房効率が良く  
光熱費の削減〕

## 環境負荷の低減

〔二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の  
排出量削減〕

## 健康的な住まいの実現

〔断熱化と気密化によって  
カビやダニが繁殖しにくい〕

## 住宅の 省エネルギー化

## 耐久性の向上

〔結露による木材の  
腐朽や劣化を防ぐ〕

群馬県ゆとりある住生活推進協議会



## 住宅の断熱化とは

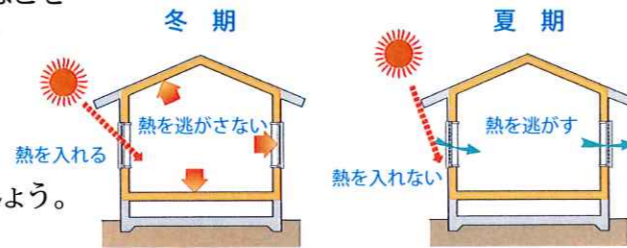
住宅における「熱」は、冬は「逃げて」、夏は「入って」来ます。これらの熱を「断つ」のが、「断熱」です。冬は熱が逃げずに暖かい家になり、夏は熱が入らずに涼しい家になります。

### 住宅の熱源化におけるポイントはこれ！

**Point 1** 住宅全体を断熱しましょう。(外壁や屋根・天井、床、窓などを断熱材で隙間なく包み込み、連続して断熱性を持たせる)

**Point 2** 開口部を断熱しましょう。(特に窓などの開口部の断熱性能を高めることが有効)

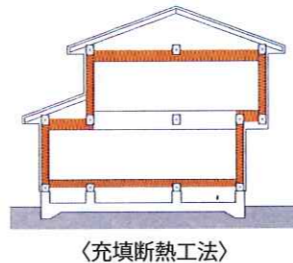
**Point 3** 開口部の日射を、夏は遮蔽し、冬期は積極的に取り入れましょう。



### 断熱工法の種類と開口部断熱

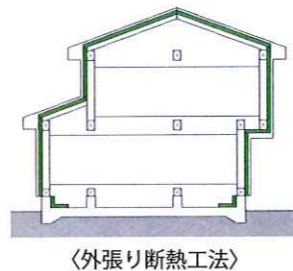
#### Method 1 充填断熱工法

・柱や間柱など軸組の間に、繊維系やプラスチック系などの断熱材を充填する工法です。  
気流止めの設置や防湿層の連続性が性能発揮のポイントとなります。



#### Method 2 外張り断熱工法

・柱や間柱、梁などの軸組の外側に断熱材を張る工法です。  
施工が比較的容易で安定した性能を望めます。



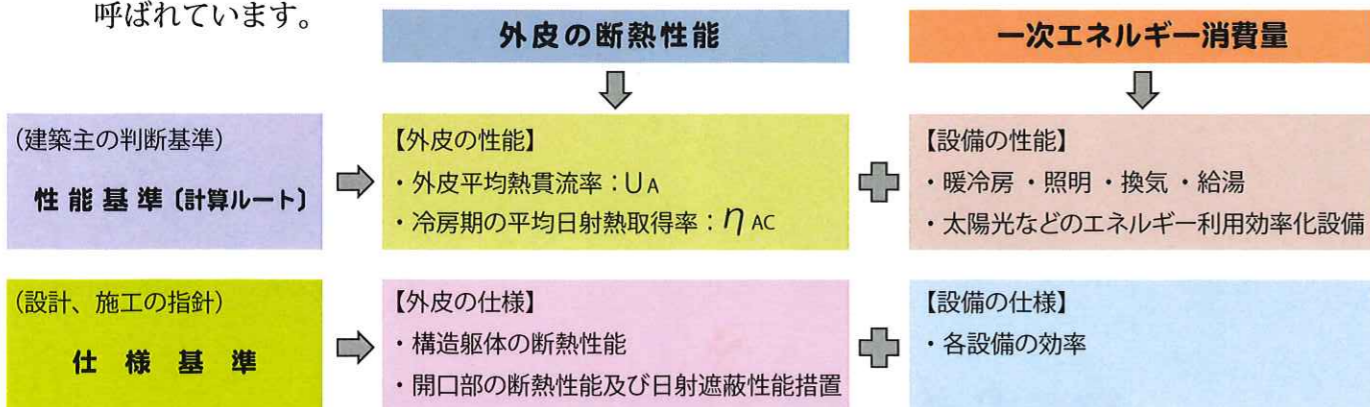
#### Point 断熱材施工の留意点と開口部断熱

・断熱材の所定の厚みが確保・維持できるよう設計および施工が大切になります。  
・部屋の熱の半分近くは窓から逃げていきます。  
窓の断熱性能はガラスの性能とサッシ枠材との組み合わせで決まります。

## 住宅の省エネルギー基準

**Check 1** 「住宅の省エネルギー基準」に沿って住宅を設計し建築することで「省エネルギー住宅」が実現します。

**Check 2** 省エネルギー住宅を建てる基準として、「建築主の判断基準」と「設計、施工の指針」が定められています。「建築主の判断基準」は「性能基準」と呼ばれていて、「設計、施工の指針」は「仕様基準」と呼ばれています。



※「性能基準」: 家の断熱性能を規定したもの  
「仕様基準」: 使う部材の仕様を規定したもの ) どちらかを採用すればよい

## 省エネルギー住宅とは

冬は暖房エネルギーを逃がさず、夏は日射熱の影響を受けにくく冷房エネルギーを無駄にしない「冬暖かく、夏涼しい」が実感できる快適な地球にやさしい住宅のことを言います。

毎日の生活で使用される冷暖房や給湯、その他家電製品などの消費エネルギーを少なくするように設計された家計にやさしい住宅と言えます。

しかし、誤った住まい方をすると、危険な状況を引き起こす場合も考えられます。以下を参考にして優れた性能を十分に活かした快適な生活を実現させてください。

### より快適で、より健康で、より地球にやさしい、暮らしのために

#### ～必ず守っていただきたい「省エネ住宅の住まい方」～

- Point 1** 開放型ストーブは使用しないようにしましょう！  
開放型のストーブやガスストーブ、ファンヒーター等には多くの換気を必要とするので、省エネ効果が低下します。  
推奨器具：エアコン、電気ストーブ、セントラルヒーティング、密閉型暖房機、FF式温風暖房機
- Point 2** 換気装置は止めないこと！  
空気質の悪化や結露による住宅機能低下の原因になります。
- Point 3** ガスレンジ使用時や、人が大勢集まったときには強制換気すること！  
換気扇を使って強制換気をしてください。酸欠や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- Point 4** 換気装置をこまめに掃除しましょう！  
埃のつきやすい給気口等のフィルターは一ヶ月に一度掃除をしてください。
- Point 5** 外部に面した壁に穴をあける時や増改築の時には事前に相談しましょう！  
エアコンの取付けなどで壁に穴をあけてしまうと住宅性能を損なう場合があります。
- Point 6** 室内の床下収納に生鮮食品は保存しないでください！  
省エネ住宅は、冬場も家の中全体が暖かい住宅です。床下収納に生鮮食品を置くと傷みやすくなりますのでご注意ください。
- Point 7** 新築入居時には換気を促進させましょう！  
特に新築3ヶ月は計画換気だけでなく、台所、浴室などの強制換気も活用しましょう。

### 建築による手法



### 設備による手法

